

# 帯広市の公共施設等の状況（平成28年度）

## （１）施設数、延床面積

3年間で  
**4施設、約1.4万㎡増**

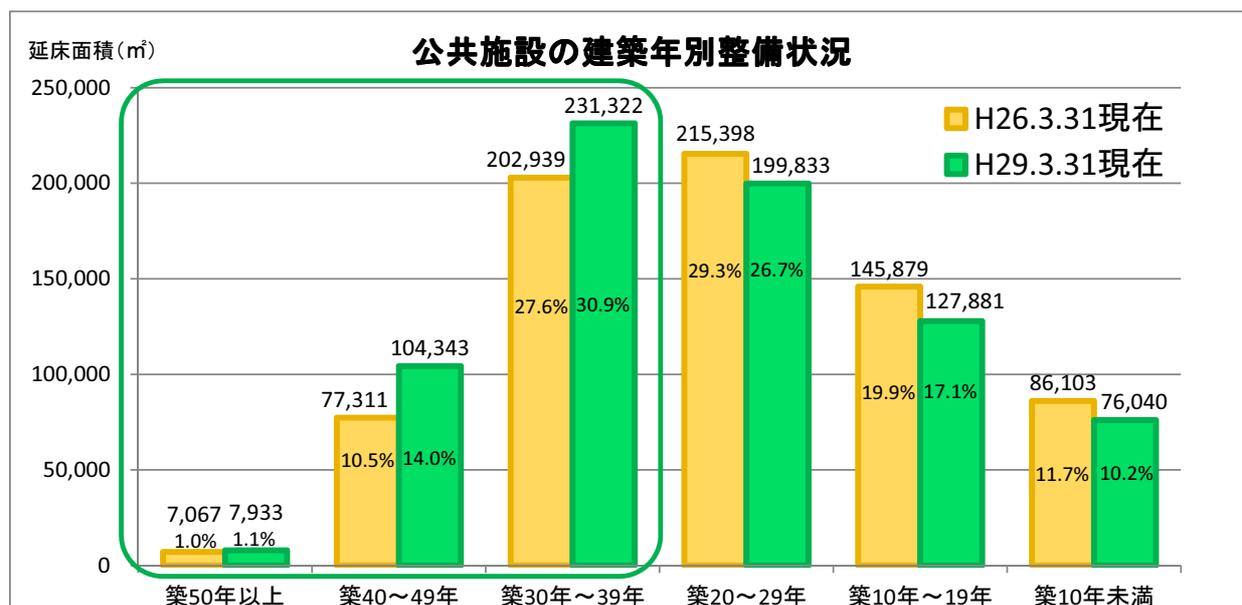
施設区分	施設分類	H26.3.31現在		H29.3.31現在		増減	
		施設数	延床面積(㎡)	施設数	延床面積(㎡)	施設数	延床面積(㎡)
公共施設	地域コミュニティ施設	51	29,482.89	52	29,859.54	1	376.65
	市民文化・社会教育系施設	11	42,995.55	11	42,998.79	0	3.24
	スポーツ・レクリエーション系施設	28	62,409.97	28	62,385.70	0	△ 24.27
	産業系施設	14	15,806.47	14	19,401.93	0	3,595.46
	学校教育系施設	42	255,388.94	43	265,377.37	1	9,988.43
	子育て支援施設	54	14,816.61	56	15,378.84	2	562.23
	保健・福祉・医療施設	7	13,098.07	7	12,781.07	0	△ 317.00
	公営住宅	22	225,699.26	22	224,476.86	0	△ 1,222.40
	行政系施設	22	41,513.55	22	41,513.55	0	0.00
	その他施設・普通財産	34	33,754.87	34	33,447.19	0	△ 307.68
	<b>小計①</b>	<b>285</b>	<b>734,966.18</b>	<b>289</b>	<b>747,620.84</b>	<b>4</b>	<b>12,654.66</b>
インフラ施設	道路	-	0.00	-	0.00	-	0.00
	公園	-	2,206.43	-	2,273.00	-	66.57
	簡易水道	-	3,080.28	-	2,472.84	-	△ 607.44
	農村上下水道	-	156.62	-	156.62	-	0.00
	<b>小計②</b>	<b>-</b>	<b>5,443.33</b>	<b>-</b>	<b>4,902.46</b>	<b>-</b>	<b>△ 540.87</b>
公営企業施設	水道	-	9,472.82	-	11,185.91	-	1,713.09
	下水道	-	18,370.80	-	18,370.80	-	0.00
	<b>小計③</b>	<b>-</b>	<b>27,843.62</b>	<b>-</b>	<b>29,556.71</b>	<b>-</b>	<b>1,713.09</b>
<b>公共施設等合計(①+②+③)</b>		<b>285</b>	<b>768,253.13</b>	<b>289</b>	<b>782,080.01</b>	<b>4</b>	<b>13,826.88</b>

＜主な増加要因＞

清流の里福祉センター、八千代公共育成牧場施設、学校給食センター、児童保育センター、南町配水場の整備など

## （２）建築年別整備状況

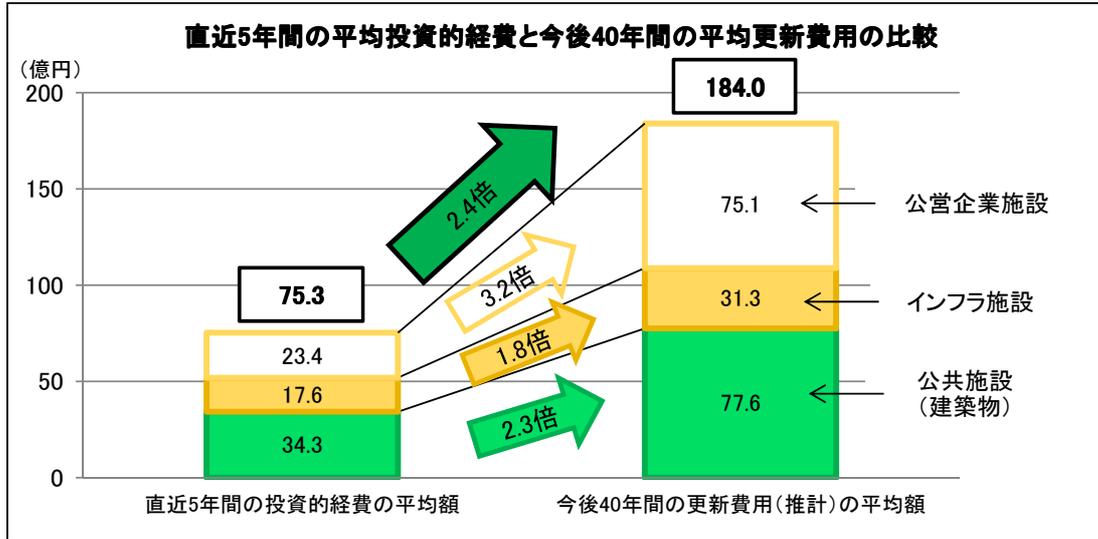
築30年以上経過した施設の割合  
**39.1% ⇒ 46.0%**



### (3) 改修・更新費用（推計）

参考資料11

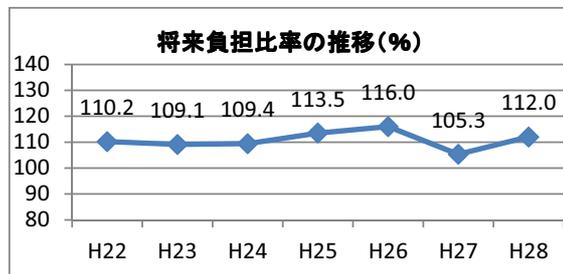
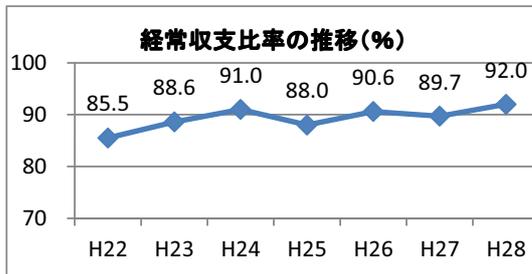
**2.4倍**の更新費用



※公共施設白書(H26.3.31現在)では、2.0倍の更新費用が必要になると推計していましたが、今回の推計(H29.3.31現在)では当時の推計を大きく上回る結果となっています。これは、老朽化した公共施設が増加し、更新時期が迫ってきていること、財政状況が厳しい中で、投資的経費が年々減少してきていることが主な要因です。

### (4) 財政状況

**財政の硬直化**



※毎年継続的に入ってくる収入(市税、地方交付税など)が減少する一方、毎年継続的に支払われる支出(社会保障費等の扶助費、市債の償還等の公債費、人件費など)が増加傾向にあります。また、将来負担比率も100%を超える状況にあり、老朽化した公共施設等が増加し、更新時期が迫る中、公共施設等の改修・更新に充てられる経費は限られてくるものと考えられます。

- ・経常収支比率・・・毎年継続的に入ってくる収入のうち、毎年継続的に支払われる支出に充てた割合。この比率が高いほど、財政の弾力性が低いことを示す。
- ・将来負担比率・・・一般会計等が抱える実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標。

○施設数、延床面積は増加

○施設の老朽化の一層の進行

○多額の改修・更新費用

○厳しい財政状況

公共施設等の機能が効果的に発揮されるよう、施設の長寿命化や施設機能の適正化などの「**公共施設マネジメント**」を市民の皆さんとともにすすめていくことが必要